

新まんてんてらこや (第2回)

地震学や防災学について、最新の研究成果や役立つ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです。阿武山観測所で以前開催していた公開講座を衣替えして、2021年4月に発足した「NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」の主催で新たにスタートしました。今回はその第2回目です。多くの方にご参加頂ければ幸いです。

[日時] 2022年8月10日 (水) 10:00 ~ 11:30

[会場] 阿武山観測所およびオンライン (Zoomによる)

[申込] NPOのホームページから事前にお申込下さい。

<http://www.npo-abuyama.org/>

[参加費] 一般500円, 当NPO会員は無料

[アフタータイム] セミナー終了後, 11時30分から約30分間, 希望される方は講師や観測所長と講義内容やNPO活動についてお気軽にお話しいただけます。

[問合せ] contact@npo-abuyama.org



近畿の 主要活断層と 長期評価

~南海トラフの巨大地震の前に活発化する内陸の地震活動。
大地震を引き起こす活断層は、私たちの足下に！
活断層研究の第一人者が詳しく解説~

講師：岡田 篤正
立命館大学客員研究員
京都大学名誉教授

新まんでんてらこや第2回 近畿の主要活断層と長期評価



講師：

岡田篤正（おかだあつまさ）

京都大学名誉教授

立命館大学客員研究員

1942年 岡山県生まれ

1972年 東京大学大学院理学系研究科博士課程 修了

1972年 愛知県立大学専任講師・助教授・教授

1992年 京都大学理学部教授

2006年 立命館大学特別招聘教授・客員研究員

専門は地球科学（地形学，活構造学）

『新編日本の活断層』、『近畿の活断層』など著書多数。

講演内容：

I. 活断層の概要

活断層に関する基礎的な事柄を解説。

II. 分布位置や概略的な性質に関する情報源

書籍・地図情報紹介

III. 近畿の活断層の概要と特徴

近畿北部には活断層が密集。歴史時代に活動したものも多い。

IV. 近畿の主要活断層の特質と長期評価

有馬高槻断層帯，琵琶湖西岸断層帯，上町断層帯，

中央構造線・和泉山脈南縁部，三方花折断層帯

V. 地震調査推進本部の長期評価

全国 110 の主要活断層の評価公表と今後の課題

『NPO 法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム』は、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え、2021年4月に設立しました。

当法人では、正会員、準会員、賛助会員を募集しています。どなたでもご入会いただくことが可能です。

会員には、講演会の参加費が無料になるなど、様々な特典があります。

詳しくはホームページ

をご覧ください。 <https://npo-abuyama.org>



特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム
所在地：〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944 京都大学防災研究所阿武山観測所内